



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 コーユーレンティア株式会社 上場取引所 東
コード番号 7081 URL <https://www.koyou.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅木 孝治
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大野 健二郎 TEL 03-6365-6505
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 16,333 | 11.0 | 1,159 | △19.6 | 1,171 | △19.9 | 640 | △26.7 |
| 2023年12月期中間期 | 14,719 | 14.7 | 1,442 | 5.5 | 1,461 | 7.2 | 873 | 19.9 |

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 644百万円 (△26.8%) 2023年12月期中間期 881百万円 (21.0%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|--------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期中間期 | 116.85 | 113.89 |
| 2023年12月期中間期 | 161.42 | 158.89 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 18,576 | 10,165 | 54.3 |
| 2023年12月期 | 19,263 | 9,776 | 50.3 |

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 10,082百万円 2023年12月期 9,687百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | 55.00 | 55.00 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年12月期（予想） | — | — | — | 60.00 | 60.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 31,000 | 0.1 | 2,600 | 6.4 | 2,600 | 4.9 | 1,650 | 2.8 | 301.54 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|--------------|------------|-----------|------------|
| 2024年12月期中間期 | 5,495,900株 | 2023年12月期 | 5,472,300株 |
|--------------|------------|-----------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|--------------|------|-----------|------|
| 2024年12月期中間期 | 321株 | 2023年12月期 | 321株 |
|--------------|------|-----------|------|

③ 期中平均株式数（中間期）

| | | | |
|--------------|------------|--------------|------------|
| 2024年12月期中間期 | 5,480,046株 | 2023年12月期中間期 | 5,412,131株 |
|--------------|------------|--------------|------------|

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2024年8月27日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 7 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）におけるわが国経済は、円安の進行で一部の輸出関連企業を中心に業績の改善が見られました。また、日銀による金融緩和の継続や政府による物価高対策、中小企業支援等の経済対策により、景気は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、世界経済の減速懸念、物価高の影響、人手不足や原材料価格の高騰による設備投資の減少等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画の達成に向けて、E S G経営を深化する新規事業の創出と経営基盤の強化に取り組むとともに、将来に向けた人的資本の充実を着実に推進してまいります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（レンタル関連事業）

建設現場向け市場では、前期と比較して、九州地区の大口案件の反動減があったものの、全国的に新規受注件数や既存現場の追加需要が増加しており、業績は堅調に推移しております。

イベント向け市場では、イベント件数が新型コロナウイルス感染症流行前の水準に回復し、2019年以降で最高の売上高となりました。特に音楽フェスでは、例年を上回る規模での開催となったことも相まって、売上高の増加に寄与しました。

法人向け市場では、主に特定顧客における反動減と、確定申告電子化による確定申告会場案件の需要縮小により、売上高が減少しました。顧客の新規開拓を進めてはおりますが、特にB P O市場において競合他社の台頭による価格競争が顕在化してきており、売上減少分をカバーすることができず苦戦を強いられました。一方、中期経営計画で重点市場として位置付けた常設オフィス向け市場は、特定顧客による事業所統廃合に伴う大型の買取、廃棄案件の受注や、好調なリユース品販売を背景に、概ね計画通りの業績で推移しました。

但し、事業全体の利益面では、営業戦略に基づく活動の結果、新企画商品を調達したことにより減価償却費等の固定原価が増加したことと、既存レンタル商品の売上が減少したことにより、利益率が低下しました。

この結果、当事業セグメントの売上高は9,337百万円（前年同期比8.8%増）となりました。また、セグメント利益は805百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

（スペースデザイン事業）

首都圏新築分譲マンション市場における2024年1月～6月の発売戸数は、前年同期比13.7%減の9,066戸となり、上半期としては4年ぶりに1万戸割れの状況となりました（㈱不動産経済研究所調べ）。そうした中、ファニチャーレンタル業務（マンションギャラリー内のF F & E※提供サービス）では、新カタログ商品の積極的な提案と価格改定により売上高の向上に貢献しました。また、ライフデザイン業務（インテリアオプション販売等）も高付加価値の商品の販売が堅調に推移し、売上高の増加に寄与しました。さらに、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に出展するパビリオン関連売上を一部計上したことにより売上高が増加しました。

事業全体の利益面では、仕入原価の上昇等が影響し、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,880百万円（前年同期比11.4%増）となりました。また、セグメント利益は100百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

（物販事業）

郵政向け市場では、新紙幣対応の現金自動出入金機関連の販売が好調に推移しました。

官公庁向け市場では、地方自治体の庁舎移転に伴う商品の納入や各省庁へのF F & Eの販売が好調でした。

事業全体の利益面では、利益率の低い案件の売上増加による売上原価率の悪化や、人件費の増加による販管費増加の影響が大きく、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,087百万円（前年同期比30.5%増）となりました。また、セグメント利益は94百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

（I C T事業）

工事、運搬売上は、業務提携先案件の獲得もあり好調に推移しましたが、レンタル商品の稼働率の低下やコピーカウンターの需要の減少により、前年同期並みの売上高となりました。また、複合機の販売は堅調に推移しましたが、新規事業とレンタル売上が伸び悩みました。

事業全体の利益面では、パソコンの調達原価の上昇により売上原価が増加したことやレンタル商品の返却により利益率が低下したため、利益を圧迫する結果となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,028百万円（前年同期比3.9%増）となりました。また、セグメント利益は157百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は16,333百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は1,159百万円（前年同期比19.6%減）、経常利益は1,171百万円（前年同期比19.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は640百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

※F F & EはF u r n i t u r e（家具）、F i x t u r e（什器）& E q u i p m e n t（備品）の略称です。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ687百万円減少の18,576百万円（前連結会計年度末比3.6%減）となりました。

（流動資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ904百万円減少の8,352百万円（同9.8%減）となりました。これは主に、現金及び預金が453百万円、受取手形及び売掛金が515百万円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

固定資産は前連結会計年度末に比べ216百万円増加の10,223百万円（同2.2%増）となりました。これは主に、賃貸用備品が223百万円増加したこと等によるものであります。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,076百万円減少の8,410百万円（同11.4%減）となりました。

（流動負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,030百万円減少の7,680百万円（同11.8%減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が476百万円、短期借入金が200百万円、1年内返済予定の長期借入金が179百万円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

固定負債は前連結会計年度末に比べ46百万円減少の729百万円（同6.0%減）となりました。これは主に、長期借入金が87百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ389百万円増加の10,165百万円（同4.0%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が339百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて453百万円減少し、2,477百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は1,797百万円（前年同期は1,356百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益1,168百万円、減価償却費1,046百万円、売上債権の減少509百万円等の資金の増加と仕入債務の減少514百万円、法人税等の支払額630百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1,346百万円（前年同期は760百万円の使用）となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出1,280百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は905百万円（前年同期は687百万円の使用）となりました。主な要因は、短期借入金の純減少額200百万円、長期借入金の返済による支出267百万円、配当金の支払額300百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月13日に「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|--------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,930,939 | 2,477,029 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,181,589 | 3,665,846 |
| 契約資産 | — | 97,847 |
| 電子記録債権 | 796,422 | 794,200 |
| 商品及び製品 | 170,737 | 191,524 |
| 仕掛品 | 134,445 | 155,687 |
| 貯蔵品 | 23,719 | 24,285 |
| 前払費用 | 482,647 | 515,556 |
| 未収入金 | 442,543 | 268,572 |
| その他 | 95,607 | 163,842 |
| 貸倒引当金 | △1,380 | △1,510 |
| 流動資産合計 | 9,257,274 | 8,352,882 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,032,019 | 1,047,451 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 14,884 | 12,994 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 73,036 | 86,131 |
| 賃貸用備品（純額） | 2,687,811 | 2,910,835 |
| 土地 | 3,771,295 | 3,771,295 |
| リース資産（純額） | 161,869 | 152,778 |
| 有形固定資産合計 | 7,740,916 | 7,981,487 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 274,303 | 252,359 |
| 顧客関連資産 | 345,613 | 326,931 |
| ソフトウェア | 310,749 | 305,595 |
| その他 | 18,345 | 19,040 |
| 無形固定資産合計 | 949,012 | 903,927 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 270,064 | 276,661 |
| 繰延税金資産 | 211,062 | 152,649 |
| 差入保証金 | 624,456 | 684,068 |
| その他 | 211,491 | 233,167 |
| 貸倒引当金 | △712 | △8,827 |
| 投資その他の資産合計 | 1,316,362 | 1,337,720 |
| 固定資産合計 | 10,006,291 | 10,223,135 |
| 資産合計 | 19,263,565 | 18,576,017 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|--------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,585,483 | 2,108,642 |
| 電子記録債務 | 1,917,115 | 1,879,777 |
| 短期借入金 | 900,000 | 700,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 534,744 | 354,982 |
| 未払金及び未払費用 | 610,599 | 956,319 |
| 未払法人税等 | 672,343 | 494,940 |
| 未払消費税等 | 270,118 | 230,193 |
| 預り金 | 167,908 | 102,626 |
| リース債務 | 250,100 | 123,357 |
| 契約負債 | 265,393 | 233,823 |
| 賞与引当金 | 486,558 | 468,436 |
| 株主優待引当金 | 29,654 | 27,639 |
| 資産除去債務 | 2,487 | — |
| その他 | 18,498 | 63 |
| 流動負債合計 | 8,711,004 | 7,680,802 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 87,648 | — |
| リース債務 | 96,598 | 89,869 |
| 役員退職慰労引当金 | 197,455 | 213,584 |
| 退職給付に係る負債 | 122,767 | 122,469 |
| 資産除去債務 | 271,522 | 303,461 |
| その他 | 477 | 439 |
| 固定負債合計 | 776,469 | 729,824 |
| 負債合計 | 9,487,473 | 8,410,626 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 910,286 | 935,798 |
| 資本剰余金 | 957,163 | 982,675 |
| 利益剰余金 | 7,732,682 | 8,072,074 |
| 自己株式 | △522 | △522 |
| 株主資本合計 | 9,599,610 | 9,990,026 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 87,678 | 92,250 |
| その他の包括利益累計額合計 | 87,678 | 92,250 |
| 新株予約権 | 88,802 | 83,113 |
| 純資産合計 | 9,776,091 | 10,165,390 |
| 負債純資産合計 | 19,263,565 | 18,576,017 |

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 （中間連結損益計算書）
 （中間連結会計期間）

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日） | 当中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日） |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 14,719,276 | 16,333,758 |
| 売上原価 | 8,434,404 | 10,004,982 |
| 売上総利益 | 6,284,872 | 6,328,776 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,842,379 | 5,169,402 |
| 営業利益 | 1,442,492 | 1,159,373 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 9,572 | 5,527 |
| 作業くず売却益 | 5,751 | 6,590 |
| その他 | 18,800 | 9,650 |
| 営業外収益合計 | 34,123 | 21,767 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,831 | 9,378 |
| その他 | 1,809 | 698 |
| 営業外費用合計 | 14,641 | 10,076 |
| 経常利益 | 1,461,975 | 1,171,064 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 11,409 | 585 |
| 投資有価証券売却益 | 50,000 | — |
| 特別利益合計 | 61,409 | 585 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 400 | 9 |
| 固定資産除却損 | 0 | 3,167 |
| 貸倒損失 | 142 | — |
| 特別損失合計 | 543 | 3,176 |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,522,841 | 1,168,472 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 725,183 | 471,733 |
| 法人税等調整額 | △75,978 | 56,388 |
| 法人税等合計 | 649,204 | 528,121 |
| 中間純利益 | 873,636 | 640,351 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 873,636 | 640,351 |

（中間連結包括利益計算書）
（中間連結会計期間）

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日） | 当中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日） |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 873,636 | 640,351 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,554 | 4,572 |
| その他の包括利益合計 | 7,554 | 4,572 |
| 中間包括利益 | 881,191 | 644,923 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 881,191 | 644,923 |

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,522,841 | 1,168,472 |
| 減価償却費 | 849,568 | 1,046,730 |
| のれん償却額 | 21,944 | 21,944 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △196 | 8,244 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 36,226 | △18,122 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 734 | △298 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 16,134 | 16,129 |
| 株主優待引当金の増減額（△は減少） | △27,030 | △2,015 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,572 | △5,527 |
| 支払利息 | 12,831 | 9,378 |
| 有形及び無形固定資産除却損 | 0 | 3,167 |
| 有形及び無形固定資産売却損益（△は益） | △11,008 | △576 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △50,000 | — |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △290,467 | 509,850 |
| 契約資産の増減額（△は増加） | — | △97,847 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | 25,145 | △42,594 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △578,662 | △514,178 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 242,261 | 439,788 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 48,680 | △17,257 |
| その他 | △223,246 | △92,873 |
| 小計 | 1,586,184 | 2,432,417 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9,572 | 5,527 |
| 利息の支払額 | △13,562 | △10,176 |
| 法人税等の支払額 | △225,600 | △630,003 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,356,594 | 1,797,763 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,137,426 | △1,280,691 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 34,930 | 6,532 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 350,000 | — |
| 保険積立金の積立による支出 | △13,561 | △13,561 |
| その他の支出 | △25,362 | △59,556 |
| その他の収入 | 30,838 | 806 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △760,581 | △1,346,469 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | — | △200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △267,410 | △267,410 |
| リース債務の返済による支出 | △177,104 | △169,891 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | — | 32,756 |
| 自己株式の取得による支出 | △123 | — |
| 配当金の支払額 | △243,247 | △300,659 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △687,885 | △905,204 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △91,873 | △453,910 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,378,700 | 2,930,939 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,286,826 | 2,477,029 |

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

（中間連結損益計算書）

前中間連結会計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「作業くず売却益」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた24,551千円は、「作業くず売却益」5,751千円、「その他」18,800千円として組替えております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) |
|---------------------------|--------------|--------------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------------------------|
| | レンタル関連 事業 | スペース デザイン 事業 | 物販事業 | I C T 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 8,580,666 | 2,585,947 | 1,599,918 | 1,952,745 | 14,719,276 | — | 14,719,276 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 264,198 | 4,992 | 1,826 | 1,593,985 | 1,865,002 | △1,865,002 | — |
| 計 | 8,844,864 | 2,590,940 | 1,601,744 | 3,546,730 | 16,584,279 | △1,865,002 | 14,719,276 |
| セグメント利益 | 993,704 | 112,081 | 104,279 | 232,123 | 1,442,189 | 303 | 1,442,492 |

（注）セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) |
|---------------------------|--------------|--------------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------------------------|
| | レンタル関連 事業 | スペース デザイン 事業 | 物販事業 | I C T 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 9,337,299 | 2,880,673 | 2,087,384 | 2,028,401 | 16,333,758 | — | 16,333,758 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 248,535 | 6,509 | 54,067 | 1,468,725 | 1,777,838 | △1,777,838 | — |
| 計 | 9,585,834 | 2,887,183 | 2,141,451 | 3,497,127 | 18,111,596 | △1,777,838 | 16,333,758 |
| セグメント利益 | 805,904 | 100,090 | 94,929 | 157,932 | 1,158,856 | 516 | 1,159,373 |

（注）セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。